

インターメディカル
2026年 管理栄養士国家試験全国統一模擬試験
「かんもし」第3回 訂正とお詫び

この度は2026年管理栄養士国家試験全国統一模擬試験「かんもし」第3回をご利用いただきまして誠にありがとうございます。

「かんもし」の解説集に以下の誤りがございました。ここに謹んで訂正とお詫びを申し上げます。

【採点に関わる訂正】

問題95 選択肢(2) および解説

本問は、徒歩と自転車での往復分の身体活動によるエネルギー消費量(kcal)を求めるところ、正答肢の(2)および解説における110 kcalは片道分のみの算出結果となっておりました。正しくは $110 \times 2 = 220$ kcalが往復分の算出結果となります。したがいまして、本問は解なしとして採点を除外いたします。

【採点に関わらない訂正】

問題101 選択肢(2)(4)の解説

選択肢(2)の解説の「負の(オペラント)強化」および選択肢(4)の解説の「正の(オペラント)強化」についての記述に誤りがありました。「負の強化」とは、望ましくない結果(嫌子・負の強化子)が取り除かされることで、行動を増やす(高める)ことをいいます。一方、望ましくない結果(嫌子・負の強化子)がもたらされることで、行動を減らす(弱める)ことは「正の弱化」に当たります。また、「正の強化」とは、望ましい結果(好子・正の強化子)がもたらされることで、行動を増やす(高める)ことをいいます。したがいまして、解説を以下の通りに訂正いたします。

選択肢(2)の解説

(誤) また、罰金を支払うという望ましくない結果(嫌子)がもたらされることによって、ビールを飲むという問題行動を抑制する取組であり、負のオペラント強化に当たる。

(正) また、罰金を支払うという望ましくない結果(嫌子)がもたらされることによって、ビールを飲むという問題行動を弱める取組であり、オペラント条件づけの正の弱化に当たる。

選択肢(4)の解説

(誤) ご褒美を得るという望ましい結果(好子)によって、ビールを飲むという問題行動を抑制する取組であり、正のオペラント強化に当たる。

(正) ご褒美を得るという望ましい結果(好子)によって、ビールを飲まないという行動を増やす取組であり、オペラント条件づけの正の強化に当たる。

訂正内容は個人成績表で受験者に告知するとともに、弊社ホームページでも公開いたします。

(<https://www.intermed.co.jp/>)

2026年1月

株式会社インターメディカル かんもし編集部

Tel : 0120-955-009 (03-5802-5804)

Mail : kanmoshi@intermed.co.jp